

中学校三年生の漢字プリント九

【光村図書 国語3】 故郷 一〜プリント十に続く

名前

(1) 油断ゆだん する

(14) 不服ふふく に感じる

(2) 自分の心境しんきょう が変化する

(15) 蔑むさげすむ ような表情  
あなどり軽んずる。見さげる。見くだす。

(3) ひっそり閑かん 静かなさま。

(16) 嘲るあざける ような態度  
見下して悪口を言う。ばかにして笑う。

(4) 紺こん色の制服

(17) 冷笑れいしょう を浮かべる  
他を見下して笑うこと。嘲笑うこと。

(5) 従業員を雇うやとう

(18) おつかいの駄賃だちん

(6) 艶つやのある表面

(19) 思案しあん がつかない

(7) 飼い犬を溺愛できあい する

(20) 旦那だんな 様と奥様

(8) 紐を棒に結えるゆわえる

(21) 物騒ぶつそう な出来事

(9) 畜生ちくしょう と叫ぶ

(22) 恵まれた境遇きょうぐう

(10) 高い塀へい

(23) 名残惜しいなごりおしい

(11) ペンキを塗るぬる

(24) 兄のように慕うしたう

(12) 貧乏人びんぼうにん と言われる

(25) 麻醉ますい が切れる

(13) 財布さいふ の紐を締める

(26) 野放図のほうず に振る舞う  
しまりがなく何をするか分からないこと。

# 中学校三年生の漢字プリント十

名前

【光村図書国語3】 故郷 続き〜十二／慣用句・ことわざ・故事成語 十三〜プリント十一に続く

ぐうぞうすうはい

(1) 偶像崇拜

像などを信仰の対象としてあがめ尊ぶこと。

こよう

(2) 雇用 主と労働者

おぼれる

(3) 欲に 溺れる

とりよう

(4) 蛍光 塗料

とぼしい

(5) 経験が 乏しい

いったん

(6) 一旦 停止する

けいぼ

(7) 師を 敬慕 する

あさいと

(8) 麻糸 で縫う

とたん

(9) 塗炭 の苦しみ

泥水や炭火にまみれるような、酷い苦しみ。

かいとうらんま

(10) 快刀乱麻 を断つ

複雑な問題をもの見事に処理すること。

がんとん

(11) 一月一日は 元旦

ぼうちゅうかん

(12) 忙中閑 あり

多忙を極める中にもわずかな暇はあるものだという意味。

むん

(13) 猿 も木から落ちる

その道に熟練した人でも時には失敗するというたとえ。

こま

(14) ひょうたんから 駒 が出る

意外な所から意外の物が出ることのたとえ。

こけつ

(15) 虎穴 に飛び込む

虎穴…虎のすんでいる、ほらあな。

こえつどうしゅう

(16) 呉越同舟

仲の悪い者同士が共通の目標で協力すること。

けんえんのなか

(17) 犬猿の仲

犬と猿のようないがみあう間柄。仲の悪いたとえ。

とら

(18) 虎 の威を借る狐

力のない者が強い者の権威を利用して威張ること。

こぶく

(19) 呉服 問屋を営む

呉服…絹の生地

ぼけつ

(20) 墓穴 を掘る

みずから滅亡の方向に進んで行くことのたとえ。

【光村図書 国語3】慣用句・ことわざ・故事成語 続き

下から意味を選んで ( ) に数字を書きましよう。

- (1) 頭が下がる (15)
- (2) 胸を張る (8)
- (3) 心に刻む (12)
- (4) 棚に上げる (22)
- (5) 襟を正す (10)
- (6) 雀の涙 (1)
- (7) 花をもたせる (9)
- (8) 肩の荷が下りる (11)
- (9) 気が気でない (19)
- (10) 息をのむ (5)
- (11) 猿も木から落ちる (14)
- (12) 転ばぬ先の杖 (21)
- (13) 背水の陣 (2)
- (14) 温故知新 (7)
- (15) 灯台下暗し (13)
- (16) ひょうたんから駒が出る (4)
- (17) 虎穴に入らずんば虎子を得ず (18)
- (18) 呉越同舟 (20)
- (19) 気が置けない (16)
- (20) 情けは人のためならず (6)

- 1 とても少ない量の例え。
- 2 後戻り出来ない覚悟で物事に取り組むこと。
- 3 油断がでえず、用心して付き合わなければならぬ。
- 4 意外な所から意外の物が出ることをたどる。
- 5 驚いてはっと息を止める。
- 6 人への親切は、巡り巡ってやがて自分に返ってくる。
- 7 昔の事柄に学んで新しい知識を得ること。
- 8 自信に満ちた態度を取る。
- 9 相手を立てて手柄をとる。
- 10 気持ちを引き締めて真面目な態度をとる。
- 11 責任や負担がなくなる。
- 12 忘れないように、しっかりと覚えておく。
- 13 あまり身近なことは、かえって気がつかないことのとえ。
- 14 その道に熟練した人でも時には失敗することのとえ。
- 15 人の行いなどに敬服する。
- 16 遠慮の必要がなく、気軽に付き合うことが出来る。
- 17 人に情けをかけることは、その人のためにならない。
- 18 リスクを負わねば成功はつかめないという意味。
- 19 落ち着かない、そわそわしてしようがない。
- 20 仲の悪い者同士が一所にいる、または共通の目標で協力すること。
- 21 失敗しないように、しっかりと準備しておくことのとえ。
- 22 わざと知らないふりをして問題にしない。

【光村図書 国語3】漢字の造語力一〜プリント十三へ続く

(1) **理性** 的な振る舞い  
りせい  
理性…物事を筋道立てて考え、判断する能力。

(2) **倫理** に反する行い  
りんり  
倫理…人としてあるべき生き方や道徳。

(3) **人類** **普遍** の原理  
ふへん  
普遍…全てのものに当てはまること。

(4) **契約** を交わす  
けいやく  
契約…売買や貸し借りの約束を交わす。

(5) **利潤** を得る  
りじゆん  
利潤…企業などが得る利益。

(6) **猶予** を与える  
ゆうよ  
猶予…物事を決行する時を先に延ばすこと。

(7) **消費期限**  
しょうひきげん

(8) **産業廃棄物**  
さんぎょうはいきぶつ

(9) **食料自給率**  
しょくりょうじきゆうりつ

(10) **循環型社会**  
じゆんかんがたしゃかい

(11) **生物多様性**  
せいぶつたようせい

(12) **重要無形文化財**  
じゅうようむけいぶんかざい

(13) **歌舞伎** を鑑賞する  
かぶき

(14) **話題に** **上せる**  
のぼせる  
取り上げて話題にする。

(15) **消耗** || **消費**  
しょうもう || しょうひ

(16) **隸属** || **従属**  
れいぞく || じゅうぞく

(17) **克明** || **丹念**  
こくめい || たんねん  
克明…いちいちこまかく念をいれる様子。

(18) **侮辱** || **恥辱**  
ぶじよく || ちじよく  
侮辱…ばかにして、はずかしめること。

(19) **凡庸** || **平凡**  
ぼんよう || へいぼん  
凡庸…すぐれた点がなく、平凡なこと。

(20) **放逐** || **追放**  
ほうちく || ついほう  
放逐…追い払うこと。

(21) **庶民** || **大衆**  
しよみん || たいしゅう  
庶民…人口の多数を占める一般的な人々のこと。

(22) **罷免** || **免職**  
ひめん || めんしよく  
罷免…職をやめさせること。

(23) **鎮圧** || **制圧**  
ちんあつ || せいあつ  
鎮圧…乱や騒ぎを力で押さえしずめること。

(24) **休憩** を取る  
きゅうけい

(25) **非常識も** **甚だしい**  
はなはだしい  
甚だしい…激しく限度を超えているさま。

(26) **企業の対応に** **憤慨** する  
ふんがい  
憤慨…ひどく腹を立てること。

【光村図書 国語3】漢字の造語力 続きくプリント十四へ続く

ふしようにじ

(1) 不祥事 を起こす

不祥事..好ましくない事柄・事件。

じょうみやく

どうみやく

(2) 静脈 動脈

静脈..心臓にもどる血液を運ぶ血管。

きち

みち

(3) 既知 未知

既知..既に知っている、または知られたこと。

ぜんぞう

ぜんげん

(4) 漸増 漸減

漸増..次第にふえること。

へいさ

かいほう

(5) 閉鎖 開放

利潤..企業などが得る利益。

りゆうき

かんぼつ

(6) 隆起 陥没

隆起..高くもりあがること。

じょじょう

じょじ

(7) 叙情 叙事

叙情..感情をのべあらわすこと。

たいほ

しゃくほう

(8) 逮捕 釈放

れいじょう

れいそく

(9) 令嬢 令息

こせきどうほん

(10) 戸籍謄本

戸籍に記載されている全員の身分事項を証明するもの。

しつじつこうけん

(11) 質実剛健

心が強く頼もしいことや、飾り気がないこと

まんじょういっち

(12) 満場一致

その場所にいる全員の意見が一つになること。

わようせつちゆう

(13) 和洋折衷

日本と西洋との風習・様式を適当に取り混ぜること。

ちゅうすうしんけい

(14) 中枢神経

神経系の中で最も重要な部分。

こうきしゆくせい

(15) 綱紀粛正

規則を厳しく適用して不正行為をなくすこと。

きじょう

(16) 机上の空論

頭の中だけで考え出した役に立たない理論や考え。

むなざんよう

(17) 胸算用 が苦手

胸算用..心の中で見積りを立てること。

くら

(18) お蔵入り

計画が取りやめになること。

ひつぜつ

(19) 筆舌に尽くしがたい

言葉では到底表現しきれないほどのすごいあり様。

じもく

(20) 耳目を集める

人々の注目を集める。多くの人の注意を引きつける。

みぞう

(21) 未曾有 の事件

いまだかつてないこと。きわめて珍しいこと。

めんぼく

ほどこす

(22) 面目を施す

名誉を高める。ほまれを得る。

あたいせんきん

(23) 値千金 の出来事

きわめて価値が高いこと・非常に価値があること。

つつうちうち

(24) 津々浦々 旅をする

津々浦々..全国各地のこと。

すけだち

(25) 助太刀 する

助太刀..加勢・助力をすること。

すたれる

(26) 文化が 廃れる

(1) 憩いいひいの場

はなはだ

(2) 甚だはなはだ残念だ

そうそふ

(3) 曾祖父そうそふの生きた時代

曾祖父…祖父または祖母の父。

すたる

(4) 名がすたる廃る

へいそくかん

(5) 閉塞感へいそくかんを開ける

閉塞感…先行きが見えない、閉じふさがっている感じ。

かつとう

(6) 心の葛藤かつとう

葛藤…もつれ。悶着(もんちゃく)。あらい。

しんらつ

(7) 辛辣しんらつな批評

辛辣…表現や見方が非常に手きびしいこと。

ゆううつ

(8) 憂鬱ゆううつな表情

憂鬱…うつとうとうしくて気持ちが晴々しないこと。

ほめる

(9) 子供を褒めるほめる

しつていき

(10) 恣意的しつていきな発言

恣意的…自分勝手に気ままな様子。

しゅうち

(11) 羞恥しゅうちを覚える

羞恥…恥ずかしく思うこと。恥じらい。

しゅうち

(12) 周知しゅうちの事実

周知…広く人の間に知れ渡ること。

いしやう

(13) 意匠いしやうを凝らす

おもしろいくふう、考案をめぐらす。

(14) 馬子にもいしやう衣装

どんな人間でも身なりを整えれば立派に見える。

てんぷ

(15) 天賦てんぷの才

生まれながらにして備え持っている才能。

てんぷ

(16) 書類を添付てんぷする

ふよう

(17) 家族を扶養ふようする

ふよう

(18) 不要ふよう不急の品

かもく

(19) 寡黙かもくな男性

寡黙…言葉数が少なくてだまりがちなこと。

かもく

(20) 勘定かもく科目

科目…小区分した個々の項目。

てきぎ

(21) 適宜てきぎな処理

適宜…その時その場よく適するように行うさま。

りやう

(22) 学生りやう寮で暮らす

しゅらいこ

(23) 会を主宰しゅらいこする

主宰…中心になって物事を行うこと。

せいじゃく

(24) 夜の静寂せいじゃく

静寂…物音もせず静かなこと。

じやう

(25) 滋養じやうをとる

滋養…体の栄養となること。

さいえん

(26) 才媛さいえんの誉れが高い

才媛…学問・才能がすぐれた女性。才女。

中学校三年生の漢字プリント十五

名前

【光村図書 国語3】 漢字に親しもう3 続きく八 / 人工知能と未来九 / 漢字に親しもう4 十くプリント十六に続く

(1) 天井 [ ] が高い建物

(14) [ ] 亜熱帯 [ ] の気候

(2) 縄文 [ ] 時代

(15) 坂道の [ ] 勾配 [ ]

(3) 滋賀 [ ] 県

(16) 飛行機が [ ] 旋回 [ ] する

(4) 愛媛 [ ] 県

(17) [ ] 緩急 [ ] をつける

(5) 要塞 [ ] を築く

(18) [ ] 山麓 [ ] の村

(6) 美しい [ ] 藤棚 [ ]

(19) 硬貨を作る [ ] 造幣局 [ ]

(7) 衆寡敵せず [ ]

(20) [ ] 吉凶 [ ] を占う

(8) 穴を [ ] 塞ぐ [ ]

(21) [ ] 苦杯 [ ] を喫する

(9) 将棋 [ ] の駒

(22) [ ] 募金 [ ] 活動

(10) 褐色 [ ] の土

(23) 讚美歌の [ ] 詠唱 [ ]

(11) 湖畔 [ ] の別荘

(24) [ ] 郷愁 [ ] に駆られる

(12) 焚き火の [ ] 炎 [ ]

(25) [ ] 哀悼 [ ] の意を表する

(13) 脊椎 [ ] 動物

(26) [ ] 怠惰 [ ] な人

多数に対して少数では勝ち目がない。数で圧倒される。

要塞…国防上の要所につくった軍事的防備施設。

褐色…黒ずんだ茶色。

勾配…水平面に対する傾きの度合い。

緩急…ゆるやかなことときびしいこと。

山麓…山の下の方の部分。山のすそ。ふもと。

苦杯…つらい経験のたとえ。

哀悼…人の死を悲しみいたむこと。

怠惰…なまけておりだらしないさま。

(1) 戦慄せんりつ を覚える

戦慄…恐ろしくて、ふるえること。

(2) 守備しゅび を固める

(3) 声援せいえん を送る

(4) 寝室しんしつ で眠る

(5) 耳鼻科じびか を受診する

(6) 迷路めいろ に入る

(7) 子守りこもり をする

(8) 声色こわいろ を変える

(9) 岩室いわむろ に入る

岩室…岩をうがって造ったほら穴、室。いわや。

(10) 真夏のあつさ 炎天下えんてんか

褐色…黒ずんだ茶色。

(11) 山のやま 麓ふもと

(12) 銀のぎん 杯さかずき

(13) 一杯こほひ 食わす

まんまと騙されること。

(14) 気炎きえん を上げる

勢いのよいことを言う。

(15) 恋心こいこころ を抱く

(16) 祖母がおばあ 恋しい

(17) 恋愛れんあい 話をする

(18) 時雨しぐれ にぬれた山

時雨…降ったりやんだりする小雨のこと。

(19) 一緒いっしょ に遊ぶ

(20) 古今こきん 和歌集

(21) 天女のあまの 羽衣はごろも

(22) 玉のたま 緒お

命のこと。

(23) 貴いたかひ 経験けいけん をする

貴い…他に代えるものがない(貴重)。身分が高い。

(24) 情緒じょうちよ あふれる城下町

情緒…その気分やその場の雰囲気。

(25) 別荘べつそう で過ごす

(26) 門出かどで を祝う

門出…自分の家を出発して、旅に出ること。旅立ち。



【光村図書 国語3】 誰かの代わりに一〜六 / 漢字のまとめ七〜プリント十八に続く

こぼるびより

(1) 小春日和

春のように穏やかな天候のこと。

ほしよう

(2) 安全を保障する

保障…侵されたり損なわれたりしないように守ること。

あやうい

(3) 国が危うい

かする

(4) 宿題を課する

課する…わりあててる。負わせる。

めんじょ

(5) 税金を免除する

免除…義務を果たさなくてもよいと許すこと。

かくとう

(6) 格闘技の試合

格闘…たがいに組み付いてたたかうこと。

こうがい

(7) 物語の梗概を書く

梗概…意味や解説、類語。物語などのあらすじ。

はしげた

(8) 橋桁の下をくぐる

橋桁…川を横断する道路となる部分。

さんばし

(9) 栈橋を渡る

どんよく

(10) 貪欲な人

貪欲…非常に欲が深いこと。強欲(ごうよく)。

しゅうわい

(11) 収賄事件

収賄…公務員や政治家が不正に賄賂を受け取ること。

こうにゅう

(12) 本を購入する

えつらく

(13) 悦楽にひたる

悦楽…よろこびたのしむこと。

しゅうねん

(14) 執念を燃やす

執念…執着して離れない心。物事にとらわれた心。

いろろ

(15) 慰労会を開く

慰労…骨折りをねぎらうこと。

そわぎ

(16) 詐欺にあう

ふほう

(17) 訃報に接する

訃報…死亡の知らせ。

せんさく

(18) 過去を詮索する

詮索…細かい所までさぐり求めること。

ぎせい

(19) 犠牲を払う

重要な目的のために自分の大切なものをささげること。

ぼくし

(20) 教会の牧師さん

とつきよ

(21) 特許を取得した技術

くれない

(22) 空が紅に染まる

こうちや

(23) 紅茶を飲む

ちまなこ

(24) 血眼になって探す

がんか

(25) 眼科に通う

うじがみさま

(26) 氏神様の祭り

【光村図書 国語3】漢字のまとめ 続きくプリント十九に続く

(1) 氏名 を記入する

(14) 式次第

儀式を進める順序。式次。  
にちじょうさはんじ

(2) 政府の失政を 弾劾 する

(15) 日常茶飯事

日々のありふれたこと。  
いちちよういつせき

(3) 該当 する項目を選ぶ

(16) 一朝一夕

ひと朝やひと晩。わずかの時日。  
ぼうじゃくぶじん

(4) 人間の 骸骨

(17) 傍若無人

人まえをはばかりせず勝手気ままにふるまうこと。  
ごんごどうだん

(5) 権力に 抵抗 する

(18) 言語道断

とんでもないこと。もつてのほか。  
とういそくみよう

(6) 炭坑 で働く

(19) 当意即妙

その場にうまく適応した即座の機転をきかすさま。  
かける

(7) 航海 日誌をつける

(20) 川に橋を 架ける

かける

(8) 天皇の 譲位

(21) 毛布を 掛ける

かける

(9) 海賊 に襲われる

(22) 得る ところが多い講義

うる

(10) 象牙 の取引問題

(23) 自分の 生い立ち

おいたち

(11) 幾多の問題を 包含 する

(24) 事態を 收拾 する

しゅうしゅう

(12) 氷の 融点 は零度

(25) ゴミの 収集 車

しゅうしゅう

(13) 友人に 嫉妬 する

(26) 驚異的 な追い上げ

きよういてき

【光村図書 国語3】漢字のまとめ 続きくプリント二十に続く

(1) 脅威きょういにさらされる  
威力によるおどし。また、おびやかされること。

(2) 自然をおそれる畏れる

(3) 時間をついやす費やす

(4) 友人にあやまる謝る

(5) ほうびをたまわる賜る  
賜る…目上の人からもらう。いただく。

(6) 記憶をさかのぼる遡る

(7) ながうたながうた長唄を聴く  
長唄…江戸歌舞伎の伴奏曲として発達した三味線音楽。

(8) 窮状きゅうじょうを訴える  
窮状…困り果てている状態。

(9) 不正をきゅうだん糾弾する  
糾弾…罪状を問いただし、非難すること。

(10) 子供用のがんぐ玩具

(11) 絵画をがくぶち額縁に入れる

(12) 川のなかす中州に渡る  
中州…川の中で土砂などが積もって水上に出ている所。

(13) 適切なそち措置を取る

(14) おうごん 黄金に輝く

(15) かんぬし 神主さんのお話

(16) ぼくとう 木刀を構える

(17) しなひ 竹刀を振る

(18) てんぽ 店舗を管理する  
老舗…昔から長く続いて信用ある店。

(19) しにせ 老舗の旅館

(20) でこぼこ 凸凹した道

(21) おうとつ 凹凸のある表面

(22) こうさ 黄砂が飛来する

(23) じやり 砂利道を歩く

(24) ざんねん 残念なお知らせ

(25) なごり 名残惜しい

(26) さいたん 最短距離を求める

【光村図書 国語3】漢字のまとめ 続き〜二十六

もより

(1) 最寄り の 駅

かんがいむりよう

(2) 感慨無量

胸一杯になるほど、しみじみ感ずること。

ばんゆういんりよく

(3) 万有引力

質量をもつすべての物体の間に作用する引力。

はいはんちけん

(4) 廃藩置県

明治の初め、藩をやめて県を置いたこと。

げかしゅじゅつ

(5) 外科手術

メスなどで、患部を切開し治療的処置を施すこと。

むしやしゅぎよう

(6) 武者修行

武芸者が武芸の修行のために諸国を回ること。

きんきちほう

(7) 近畿地方

かたき

(8) 江戸の 敵 を長崎で 討つ

意外な所や時、事柄で過去の仕返しをすること。

わざわい

(9) 口は 災い の元

不用意な発言が思いがけない災難を招くということ。

こう

(10) 郷 に入っては 郷 に従え

他の土地へ行ったらその地の風習を尊重し従うがよい。

しり

(11) 頭隠して 尻 隠さず

欠点の一部を隠して全部を隠したつもりでいる愚かさ。恐れ多い・申しわけなくて頭が上がらない。恐縮だ。

いんさ

(12) 腹が減っては 戦 ができぬ

空腹ではよい仕事ができないという意味。

ぜに

(13) 安物買いの 銭 失い

安い物は品質が悪いので逆に高くつくということ。

(14) 利益を 貪る

むさぼる

まかなう

(15) 予算内で 賄う

賄う・とりはからう。経費の面倒をみる。

えつ

(16) 悦 に入る

物事がうまくいって、心うれしい状態になる。

なぐさめる

(17) 友達を 慰める

きば

(18) 牙 をむく

敵意や怒りを表に強く出す。

いけい

(19) 畏敬 の念を抱く

畏れ多く思うほどに相手を敬う気持ち。

きゆう

(20) 窮 すればと通ず

物事に行き詰まる程、解決の方法が見つかるもの。

のうこうそく

(21) 脳梗塞 で倒れる

まかない

(22) 賄い 付きのバイト

従業員の食事に作られる料理。

なぐさむ

(23) 心が 慰む

安らぎを与える。楽しませる。

おそれ

(24) 恐れ 多い限り

恐れ多い・申しわけなくて頭が上がらない。恐縮だ。

ふんきゆう

(25) 議論が 紛糾 する

紛糾・物事がもつれて、まとまらないこと。

はいこう

(26) 鉾山が 廃坑 になる

havagonet.com

(1) 暫定 的 な措置

暫定…決定を見合わせ一時的な仮の取決めをすること。

(14) 渋柿 を食べる

しぶがき

(2) 斬新 なデザイン

斬新…趣向がとびぬけて新しいこと。

(15) 瓦版 を読む

かわらばん

瓦版…江戸時代に普及した事件を急報するための印刷物。

(3) 漸次 進歩しつつある

漸次…次第に。だんだん。

(16) 石碑 を建てる

せきひ

石碑…ある事を記念して石に文を彫って建てたもの。

(4) 冬山を 征服 する

征服…困難に打ち勝って自分の支配下におくこと。

(17) 難癖 を付ける

なんくせ

些細な欠点を見つけて悪くいう。文句を言う。

(5) 身の潔白を 証明 する

証明…事の真偽を証拠を挙げて明らかにすること。

(18) 建坪 を計算する

たてつぼ

建坪…建物を真上から見たときの面積(水平投影面積)

(6) 正確 な計算

せいかく

(19) 邦楽 を聴く

ほうがく

邦楽…日本の音楽のこと。

(7) 大会に向けて 鍛錬 を積む

たんれん

(20) 軽い土の 塑像 を作る

そぞう

鍛錬…修養・訓練を積んで心身・技能をりっばにすること。塑像…粘土や石膏を材料として作った像。

(8) 不祥事を深く 陳謝 する

ちんしゃ

(21) 会社の信用が 失墜 する

しつつい

陳謝…わけを言ってあやまること。失墜…信用・権威などを失うこと。

(9) 反復 練習 をする

れんしゅう

(22) 飛行機が 墜落 する

ついらく

(10) 座禅 を体験する

ざぜん

(23) 垣根 を越える

かきね

文化ジャンルの境界を越える。

(11) 蚊柱 を見つける

かばしら

(24) 忘恩 の徒

ぼうおん

蚊柱…蚊などが上下左右に飛びながら柱状に群集する現象。忘恩…恩を忘れる、恩知らずな人。

(12) 朱色 の鳥居

しゆいろ

(25) 本を 貸与 する

たいよ

朱色…朱肉のような、やや黄を帯びた赤色。

(13) 胃袋 をつかむ

いぶくろ

(26) 秘密の 花園

はなぞの

料理の腕前でその人を魅了する。

中学校三年生の漢字プリント二十二 名前

【光村図書 国語3】漢字に親しもう5 続き〜七 / 本は世界への扉 八〜十七

たいろ

(1) 退路を断つ

退却する手段や道筋をなくすこと。

こんじゃく

(2) 今昔の感

今と昔を思い比べて大きな違いに心を打たれること。

しんせん

(3) 愛情の 深淺を推し測る

深淺..深いことと浅いこと。深さ。

いんそつ

(4) 生徒を 引率する

引率..おおぜいの人をひきつれること。

ゆうし

(5) その 雄姿を現す

雄姿..雄々しく立派な姿。

ひやくせんれんま

(6) 百戦錬磨

多くの戦いや経験によって鍛えられること。

しゆ

(7) 朱に交われれば赤くなる

習慣、特に悪習は付き合う相手に影響される。

ぜせい

(8) 格差を 是正する

是正..悪い点を改めて正しくすること。

せいさん

(9) 戦場の 凄惨な現状

凄惨..目をそむけたいような、むごたらしい様子。

いつちようら

(10) 一張羅を着る

一張羅..たった一枚の上等の着物。

ほんろう

(11) 運命に 翻弄される

自分の意に反して行動や感情が振り回されること。

やめる

(12) 会社を 辞める

ざんこく

(13) 戦争は 残酷なもの

(14) 是々非々

客観的に物事を見て公正な判断をすること。

しんらばんしょう

(15) 森羅万象

宇宙に存在する一切のもの。

もてあそぶ

(16) ビー玉を 弄ぶ

弄ぶ..手に持って遊ぶ。いじくる。

ゆくえ

(17) 行方を 追う